

平成24年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495000216	事業の開始年月日	平成23年2月1日	
		指定年月日	平成23年2月1日	
法人名	医療法人啓和会			
事業所名	グループホーム小田			
所在地	(〒210-0846) 神奈川県川崎市川崎区小田4-11-9			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成25年1月18日	評価結果 市町村受理日	平成25年5月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.jp/14/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;IieyosyoCd=1495000216-00&amp;PrefCd=14&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.jp/14/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;IieyosyoCd=1495000216-00&amp;PrefCd=14&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体である医療法人との連携を積極的に推進しています。  
 昼夜問わず、入居者様急変に対する24時間訪問看護体制を実施。又、定期的な個人への訪問診療、外来での内視鏡検査等で入居者様のわずかな変化を見逃さないよう、日々医療・介護間で連携を図る事に努めています。更に、週1回の健康運動指導士によるリハビリ体操や、マッサージ師による訪問マッサージを行っています。他にもピアノの先生が訪問し、音楽療法を行っています。  
 また、ご家族との信頼関係強化にも努めています。  
 毎年実施している敬老会・クリスマス会にて家族会を開き、要望・質問等を直接伺う機会を設けている。又、入居者様の様子を文章作成し郵送にてお伝えしています。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成25年2月21日	評価機関 評価決定日	平成25年4月2日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は川崎駅からバスで15分、バス停小田郵便局前または小田小学校前から徒歩1分のバス道路に面した比較的にぎやかな場所にあります。平成23年2月に医療法人啓和会が開設し、認知症の緩和をうながすことをホーム運営の目的に掲げています。確かな医療と介護の連携の中で、入居者がゆったりとその人らしい毎日を安心して送れるように、職員は日々の生活を優しく見守っています。

<優れている点>

法人が運営する診療所がすぐ近くにあり、24時間の訪問看護体制が整っています。入居者には必要な時は何時でも診てもらえるという安心感があります。毎月2回、内科や精神科医が定期的に往診し、また、緊急時には24時間の入院加療体制が整っています。職員は、日常生活の入居者の症状の僅かな変化を見逃さないようにし、職員の気づきを往診時に医師に説明しています。医療と福祉の連携が入居者の安心感に繋がっています。

<工夫点>

週1回健康運動指導士が訪問して、ピラティス体操を指導しています。入居者はそれぞれの状態に応じて、イスに座ったまま手足やからだを動かしています。職員は、入居者ができることは何でも自分でやるように、また、自ら体を動かせるように日々の支援を心がけています。杖がないと歩けなかった90代の入居者の一人は、今は杖がなくても歩けるように成った事例もあります。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム小田
ユニット名	1階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「個人の尊厳」「日常生活の「保持」「利用者の意向を尊重」「地域社会と連携」「開かれた施設づくり」等のホームの理念を貼付しており、フロア会議の話し合いにおいて、共有・実践に努めています。	入居者に安心して普通の生活を送ってほしいとの思いをこめて、全職員で話し合い事業所独自の理念を定めています。入居者と同じ視点にたち、日々の支援に努めることを職員の姿勢として定め、職員に周知し理念の実践に努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しています。近隣の方がいつでも見学できるように町内会長さんと連携しています。ホームの両隣りが美容室と八百屋があり入居者様が利用し、地域交流を図っています。公園への散歩、商店への買い物等を通して地域とのつながりを実感してもらえよう努めています。	町内会に加入し夏祭りや盆踊り、神輿祭りなど地域の行事に積極的に参加し、地域住民との交流を図っています。入居者は近くの公園まで散歩したり、商店街に買い物に出かけたりして、地域の人たちと親しく言葉を交わしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの両隣りの八百屋、美容室の方にはグループホームについて説明を行っています。お客様に施設の説明をしていただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	他グループホームの管理者、川崎市の指定相談員等で利用できる地域のことなどアドバイスを受たり、利用者の相談にのってもらい、解決に向け努力しています。	町内会長や地域包括支援センター、家族代表等が出席し、2か月毎に運営推進会議を開催しています。会議では災害時の避難訓練への協力を依頼したり、マジックショーやフラダンスなどボランティアの受け入れについて話し合ったりしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	川崎市事業推進課等、わからないことが発生した場合、相談にのっていただいたり、川崎市の質問コーナーにて相談しています。	区役所が主催するインフルエンザやノロウイルスなどの感染症予防や、成年後見制度に関する講習会などに積極的に参加しています。生活保護を受給している入居者については区の職員と連絡を取り、入居者が安心して過ごせるようにしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束排除宣言」を貼付しています。実際、日々の申し送りやフロアミーティングでの話し合っています。	身体拘束排除マニュアルを作成しています。身体拘束廃止がケアの基本であることを職員間でよく話し合い、実践に努めています。職員は入居者1人ひとりの身体状況に配慮し、転倒事故などを起こさないように、日々の生活を見守っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないよう注意を払い、防止に努めている	入居者の着脱時・入浴時等に発心、あざなどがあれば、記録・報告するようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、手続き中の入居者がいます。この機会に成年後見について理解と活用を作っていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時・解約時ともに、御家族と面談の上、漏れがないよう、十分な説明を行っています。疑問点は、その場で出来る限り解決を図っています。その上で契約書への記入・捺印を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や御家族の来訪時等に直接いただいたご意見・ご要望には、真摯に耳を傾け、速やかに対応しています。	居室担当職員が家族面談を通して意見や要望の把握に努め、また、手紙で利用者の状況を伝えています。年に1回家族会を開催し家族の要望や希望について聞く機会を設けています。	家族面談の状況や家族の要望などを記録に残し、家族の意見の変化等に配慮し、個別支援に活かすことを期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや毎日の申し送りにおいて、職員が積極的に発言できる機会を設けています。そのなかで貴重な意見は全職員で共有するよう、心がけています。	居室担当制を敷いて責任を明確にしたことが、職員のモチベーションの向上に繋がっています。入居者の年賀状の手伝いなど職員の意見を取り入れています。また、職員の希望する日に休暇をとれるように、毎月のシフト勤務に配慮しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者や主任から個々の職員の評価や意見を把握し、就業環境の改善に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新規に入社した職員に対し、研修期間を定め、その期間はフロアの主任・副主任を中心に指導にあたっている。また、連携しているデイサービスや他のグループホーム等へ研修に行き、幅広い介護経験を積めるよう、配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	新規に入社した職員に対し、研修期間を定め、その期間はフロアの主任・副主任を中心に指導にあたっている。また、連携しているデイサービスや他のグループホーム等へ研修に行き、幅広い介護経験を積めるよう、配慮しています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	話し合いを大切にしています。それまでの生活歴・ADLの状況・既往症等の把握に努めます。その結果、ご本人に安心して入所を検討して頂けるよう、努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人、ご家族共に施設の見学をすすめています。実際に施設を見て頂き、疑問・質問に対してお答えしています。施設を納得していただいたうえで入所につなげています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	生活歴・ADLの状況・既往歴の把握に努めています。そのうえでご本人・ご家族が必要としている事、求めている事を話し合いの上で見極めしています。希望にて訪問マッサージをにてADLの維持・向上を行っている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が長年培ってきた生活の知恵や職員生前の昔話等を職員側に発信できる機会を作るようにしています。また、洗濯物を一緒にたたんだり、料理の盛り付けを一緒に行ったりしています。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設内での生活の写真をご家族に送っています。また、ご本人と共にイベントに参加して頂いたり、家族会開催や年末年始の本人帰宅の奨励等を行っています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人に対して、年末にご家族から馴染みの人の住所を聞き年賀状を送り、関係が途絶えないように支援しています。	入居後も友達がよく訪れ、以前と変わらない友達関係が続いている入居者がいます。また、携帯電話で友達と連絡を取り合っている入居者もいます。入居時は馴染みの物を持ち込んで、入居者が生活の雰囲気をつくりだせるだけ変えなくてすむように配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	別フロアにいる親しい入居者に会いに行けるよう声をかけ、誘導しています。また、開設当初から顔馴染みの入居者同士のテーブル席を近くに配置して、会話が成立しやすいよう、工夫しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院の為、退去された方に対してお見舞いに行ったり、亡くなられた方に対して、お線香をあげに行ったりしています。関係性は大切にしています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者一人ひとりに担当者を充てていません。担当した入居者の意向等を把握してもらうよう、努めています。	入居時の面接で入居者の身体状況や生活動作について把握し、入居1ヶ月後にアセスメントを実施しています。思いや意向から入居者支援のニーズを詳細に把握し個別支援計画に反映しています。入退院等生活状況の変化に応じ、随時アセスメントを実施するようにしています。	利用者へのサービス支援の状況や利用者本人の言動や家族の要望などをケース記録に残し、思いや意向を整理し個別支援計画策定時に活用することも期待されます。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント作成以降も、ご家族来訪時に随時、生活歴・生活環境等を伺い、継続的な把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の記録記入や申し送り、また定期的かつ継続的な訪問診療体制により、日々の状況把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーの作成した計画と課題に、御家族、職員らの意見を反映して、入居者の変化に対応した介護計画を作成しています。	個別支援計画の課題に沿って、3ヶ月ごとにモニタリングを実施し、計画の見直しに反映しています。医師の往診記録や、本人・家族の要望等をユニット会議で検討し、入居者ごとの支援内容を職員間で共有し個別支援計画を見直しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ごとに記録ノートがあり、職員の観察による気づきや入居者の変化等を記載しています。そのノートをもとに申し送りを行っています。また、ケアプランの見直しにも活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況に応じて、訪問マッサージを提供しています。また、ご家族の状況に配慮し、介護保険の更新、後見人の調査官との面会等にも柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防士立会いによる避難訓練・災害講習・消火器の使用法の説明を受けています。両隣が美容室と八百屋があり、ご利用者様が利用をしています。近隣の保育園児が訪問し、歌を歌って頂いたり施設訪問を受け入れています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体である医療法人のドクターの訪問診療を基本にしていますが、かかりつけ医がいる場合は連携をとりながら、適切な医療が受けられるよう支援しています。	事業所には眼科・耳鼻科以外の専門医が毎月定期的に往診しています。入居に際し、本人・家族の同意を得て全員が往診医の診療をうけています。訪問看護ステーションには、健康管理や医療面での相談、医師への連絡等を依頼しています。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療でドクターと同行している看護職員に、申し送りや会議で共有した気付きや変化を受診時に報告、相談しています。また緊急の場合には、24時間電話で看護職員に連携が取れる体制になっており、活用しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には担当の看護職に施設での現状を報告しています。また、寝たきりや認知症の進行を予防するため、御家族の協力も得ながら、早期退院を心がけています。また、退院時のサマリーを職員が通読するようにしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルに向けた方針をまとめ、ご家族、医師、施設長、ケアマネージャーが話し合いの機会を持ち、十分な説明を行い、ご家族の希望に出来るだけ沿うよう同意書を作成しています。	重度化した場合、事業所内での医療面の対応可能範囲について家族と話し合っています。看取りの介護には、家族、医師、看護師、介護職員の連携、意思疎通が必要との認識に至っています。現時点では、ターミナルケアの実績はまだありません。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時における対応の仕方は、職員が目につくところにマニュアルが貼付あります。応急処置に関しては、法人内での講習があり訓練を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施し、記録を残しています。フロア内には避難場所までの地図を貼用しています。	年2回、避難訓練を実施しています。長崎の事業所の火災発生に伴う消防署の立ち入り検査で、通報時の受け答えや、夜間の避難誘導の方法等アドバイスを得ています。地域住民からは「何かあったら言って下さい」との申し出を受けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	フロア内に言葉遣いや気遣い、マナーに関するポスターを職員が目にしやすい場所に貼用しています。また実際、人生の諸先輩方と接する気持ちで対応するよう心がけています。	年長者への礼儀として、口調や言葉使いに留意しプライバシーへの配慮を忘れず、さりげない介護の実践に努めています。非常勤を含め全ての新人職員は法人本部で1ヶ月研修を受け、その後は施設長、主任、リーダーから現場指導を受けています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の想いを引き出せるよう、声掛けの仕方に工夫をしています。食事・おやつメニューや外出したい場所等に関するアンケートを取ったりしています。また、個別や集団も意識しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	介護予防や共同生活を視野に入れながらも、一人ひとりのライフスタイルを尊重し、出来る限りご本人の希望に沿うよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着用する洋服を自分で選択してもらったり、ヘアブラシをお貸ししています。また、床屋・美容院等は本人の希望に沿って行っています。地域の行きつけのお店に行ったりもしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好みの食事やおやつを記念日に特別メニューにしたりしています。野菜切りや味見、盛り付け等調理に参加してもらったりしています。また、食器洗い、お盆拭きをして頂いています。	レシピ付きで届く食材で利用者は野菜の下ごしらえや盛り付けを手伝い、職員と共に食事を楽しんでいます。イベントの際の行事食や職員手作りの餃子パーティ、花見の際の弁当も人気があります。誕生日には皆でバースデーケーキを作り祝っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に応じて、刻み・おかゆにしたり、塩分食事も調整しています。また、毎食の摂取量を記録ノートに記載しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っています。また、個々に応じて最後に職員が確認し、磨き残しのないように清潔の保持をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意・便意を見逃さないよう、観察・声掛けを意識しています。	自立をしている利用者へは、様子観察・見守りに徹し、自立の継続に配慮しています。排泄チェック表を基に時間で誘導する以外に、様子や仕草からも、トイレへさり気なく誘導しています。利用者個別の状況は申し送りでも共有しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を出来るだけ促しており、また、便秘の日数を記録し、申し送りにて情報共有しています。また、運動やおやつに乳製品を出したりとなるべく便秘にならないようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は週3回行っています。入浴当日のバイタルサインや、ご本人の希望を考慮し、気持ちよく入浴してもらえるよう努めています。また、女性入居者の羞恥心に配慮し、同性の介護職が対応したりして工夫しています。	月・水・金を入浴日とし、一人ひとりの体調を確認して提供しています。入浴の無い日には医師の指示で足浴をする利用者もいます。入浴を好まない利用者には、同性介助や声掛けに工夫をしています。季節により菖蒲湯やゆず湯も提供しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、フロアでうたた寝しかけている入居者がいたら、居室で少し休むよう声かけや誘導をしたり、一人ひとりの体調に合わせて、休息を取れるよう、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	現在服薬中の薬の目的・副作用・用法・用量は誰でもいつでもファイルで簡単にチェックすることができるようにしています。また服薬の確認チェックリストを作成し、誤薬が起こらないよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	絵が好きな方はぬり絵をして頂いたり、歌うことが好きな方に歌い出しを担当してもらったり、TV好きな方に出来るだけ好きな番組を観てもらえるよう配慮したりしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出前に全員に質問をし、外出を希望する方を中心に支援を行っています。また、普段行けないような場所の場合は、事前に職員が企画を立案し、安心・無事故で支援できるように努めています。	車イスでの外出には回数に制限がありますが、歩行可能な利用者は機能維持、気分転換を目的に、季節が良ければ日常的に散歩に出たり、洗濯物取り込み等で気分転換を図っています。希望があれば買物へ同行したり、車で花見に行く事もあります。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の扱い方を理解している方は個人でお財布・お金を所有しています。また、購入したいものがある場合、職員は同行し、ご本人が自分で納得したお買い物ができるよう、支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望する時は、連絡が取れるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関窓は小さく、不快な音や光が届くことはありません。また、毎月入居者が作成したちぎり絵による作品が季節感を表すものになっています。更に、カレンダーが皆の目につくところに配置されています。	居間の湿度は50%を基準とし、室温は個々の体感を重視しています。室内はシンプルな中にもアットホームな雰囲気が感じられ、利用者は職員と一緒にテーブル拭き等行い清潔にしています。ゴミ収集日には周辺を利用者と職員が掃除しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	2人掛け・3人掛けソファや玄関前のベンチ等、独りになれたり、気の合う入居者同士で過ごせるよう、工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	危険性のない物であるならば、ご本人が居心地よく過ごせるようにするため、ご本人やご家族が使い慣れた家具や衣類・物品等、自由に持ち込んで頂いています。仏壇を置いている方もいます。	居室内は、転倒の危険を回避するために動線に物を置かない様、配慮しています。馴染みの家具や仏壇の持ち込みもあり、本人が過ごしやすいようにレイアウトしています。週3日の掃除と週1回のリネン交換で居室内は清潔が保たれています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子でも歩行でも可能なバリアフリー仕様になっています。玄関から階段・廊下・トイレ・フロア・浴室等に手すりを配備しています。また、フロア・居室・トイレ・キッチン・洗面所・浴室等の段差は解消しています。		

事業所名	グループホーム小田
ユニット名	2階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「個人の尊厳」「日常生活の「保持」「利用者の意向を尊重」「地域社会と連携」「開かれた施設づくり」等のホームの理念を貼付しており、フロア会議の話し合いにおいて、共有・実践に努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しています。近隣の方がいつでも見学できるように町内会長さんと連携しています。ホームの両隣りが美容室と八百屋があり入居者様が利用し、地域交流を図っています。公園への散歩、商店への買い物等を通して地域とのつながりを実感してもらえよう努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの両隣りの八百屋、美容室の方にはグループホームについて説明を行っています。お客様に施設の説明をしていただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	他グループホームの管理者、川崎市の指定相談員等で利用できる地域のことなどアドバイスを受たり、利用者の相談にのってもらい、解決に向け努力しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	川崎市事業推進課等、わからないことが発生した場合、相談にのっていただいたり、川崎市の質問コーナーにて相談しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束排除宣言」を貼付しています。実際、日々の申し送りやフロアミーティングでの話し合っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者の着脱時・入浴時等に発心、あざなどがあれば、記録・報告するようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、手続き中の入居者がいます。この機会に成年後見について理解と活用を作っていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時・解約時ともに、御家族と面談の上、漏れがないよう、十分な説明を行っています。疑問点は、その場で出来る限り解決を図っています。その上で契約書への記入・捺印を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や御家族の来訪時等に直接いただいたご意見・ご要望には、真摯に耳を傾け、速やかに対応しています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや毎日の申し送りにおいて、職員が積極的に発言できる機会を設けています。そのなかで貴重な意見は全職員で共有するよう、心がけています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者や主任から個々の職員の評価や意見を把握し、就業環境の改善に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新規に入社した職員に対し、研修期間を定め、その期間はフロアの主任・副主任を中心に指導にあたっている。また、連携しているデイサービスや他のグループホーム等へ研修に行き、幅広い介護経験を積めるよう、配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	新規に入社した職員に対し、研修期間を定め、その期間はフロアの主任・副主任を中心に指導にあたっている。また、連携しているデイサービスや他のグループホーム等へ研修に行き、幅広い介護経験を積めるよう、配慮しています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	話し合いを大切にしています。それまでの生活歴・ADLの状況・既往症等の把握に努めます。その結果、ご本人に安心して入所を検討して頂けるよう、努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人、ご家族共に施設の見学をすすめています。実際に施設を見て頂き、疑問・質問に対してお答えしています。施設を納得していただいたうえで入所につなげています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	生活歴・ADLの状況・既往歴の把握に努めています。そのうえでご本人・ご家族が必要としている事、求めている事を話し合いの上で見極めしています。希望にて訪問マッサージをにてADLの維持・向上を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が長年培ってきた生活の知恵や職員生前の昔話等を職員側に発信できる機会を作るようにしています。また、洗濯物を一緒にたたんだり、料理の盛り付けを一緒に行ったりしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設内での生活の写真をご家族に送っています。また、ご本人と共にイベントに参加して頂いたり、家族会開催や年末年始の本人帰宅の奨励等を行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人に対して、年末にご家族から馴染みの人の住所を聞き年賀状を送り、関係が途切えないように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	別フロアにいる親しい入居者に会いに行けるよう声をかけ、誘導しています。また、開設当初から顔馴染みの入居者同士のテーブル席を近くに配置して、会話が成立しやすいよう、工夫しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院の為、退去された方に対してお見舞いに行ったり、亡くなられた方に対して、お線香をあげに行ったりしています。関係性は大切にしています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者一人ひとりに担当者を充てています。担当した入居者の意向等を把握してもらうよう、努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント作成以降も、ご家族来訪時に随時、生活歴・生活環境等を伺い、継続的な把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の記録記入や申し送り、また定期的かつ継続的な訪問診療体制により、日々の状況把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーの作成した計画と課題に、御家族、職員らの意見を反映して、入居者の変化に対応した介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ごとに記録ノートがあり、職員の観察による気づきや入居者の変化等を記載しています。そのノートをもとに申し送りを行っています。また、ケアプランの見直しにも活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況に応じて、訪問マッサージを提供しています。また、ご家族の状況に配慮し、介護保険の更新、後見人の調査官との面会等にも柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防士立会いによる避難訓練・災害講習・消火器の使用法の説明を受けています。両隣が美容室と八百屋があり、ご利用者様が利用をしています。近隣の保育園児が訪問し、歌を歌って頂いたり施設訪問を受け入れています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体である医療法人のドクターの訪問診療を基本にしていますが、かかりつけ医がいる場合は連携をとりながら、適切な医療を受けられるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療でドクターと同行している看護職員に、申し送りや会議で共有した気付きや変化を受診時に報告、相談しています。また緊急の場合には、24時間電話で看護職員に連携が取れる体制になっており、活用しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には担当の看護職に施設での現状を報告しています。また、寝たきりや認知症の進行を予防するため、御家族の協力も得ながら、早期退院を心がけています。また、退院時のサマリーを職員が通読するようにしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルに向けた方針をまとめ、ご家族、医師、施設長、ケアマネージャーが話し合いの機会を持ち、十分な説明を行い、ご家族の希望に出来るだけ沿うよう同意書を作成しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時における対応の仕方は、職員が目につくところにマニュアルが貼付あります。応急処置に関しては、法人内での講習があり訓練を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施し、記録を残しています。フロア内には避難場所までの地図を貼用しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	フロア内に言葉遣いや気遣い、マナーに関するポスターを職員が目にしやすい場所に貼用しています。また実際、人生の諸先輩方と接する気持ちで対応するよう心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の想いを引き出せるよう、声掛けの仕方に工夫をしています。食事・おやつメニューや外出したい場所等に関するアンケートを取ったりしています。また、個別や集団も意識しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	介護予防や共同生活を視野に入れながらも、一人ひとりのライフスタイルを尊重し、出来る限りご本人の希望に沿うよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着用する洋服を自分で選択してもらったり、ヘアブラシをお貸ししています。また、床屋・美容院等は本人の希望に沿って行っています。地域の行きつけのお店に行ったりもしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好みの食事やおやつを記念日に特別メニューにしたりしています。野菜切りや味見、盛り付け等調理に参加してもらったりしています。また、食器洗い、お盆拭きをして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に応じて、刻み・おかゆにしたり、塩分食事も調整しています。また、毎食の摂取量を記録ノートに記載しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っています。また、個々に応じて最後に職員が確認し、磨き残しのないように清潔の保持をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意・便意を見逃さないよう、観察・声掛けを意識しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を出来るだけ促しており、また、便秘の日数を記録し、申し送りにて情報共有しています。また、運動やおやつに乳製品を出したりとなるべく便秘にならないようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は週3回行っています。入浴当日のバイタルサインや、ご本人の希望を考慮し、気持ちよく入浴してもらえるよう努めています。また、女性入居者の羞恥心に配慮し、同性の介護職が対応したりして工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、フロアでうたた寝しかけている入居者がいたら、居室で少し休むよう声かけや誘導をしたり、一人ひとりの体調に合わせて、休息を取れるよう、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	現在服薬中の薬の目的・副作用・用法・用量は誰でもいつでもファイルで簡単にチェックすることができるようにしています。また服薬の確認チェックリストを作成し、誤薬が起こらないよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	絵が好きな方はぬり絵をして頂いたり、歌うことが好きな方に歌い出しを担当してもらったり、TV好きな方に出来るだけ好きな番組を観てもらえるよう配慮したりしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出前に全員に質問をし、外出を希望する方を中心に支援を行っています。また、普段行けないような場所の場合は、事前に職員が企画を立案し、安心・無事故で支援できるように努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の扱い方を理解している方は個人でお財布・お金を所有しています。また、購入したいものがある場合、職員は同行し、ご本人が自分で納得したお買い物ができるよう、支援しています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望する時は、連絡が取れるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関窓は小さく、不快な音や光が届くことはありません。また、毎月入居者が作成したちぎり絵による作品が季節感を表すものになっています。更に、カレンダーが皆の目につくところに配置されています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	2人掛け・3人掛けソファや玄関前のベンチ等、独りになれたり、気の合う入居者同士で過ごせるよう、工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	危険性のない物であるならば、ご本人が居心地よく過ごせるようにするため、ご本人やご家族が使い慣れた家具や衣類・物品等、自由に持ち込んで頂いています。仏壇を置いている方もいます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子でも歩行でも可能なバリアフリー仕様になっています。玄関から階段・廊下・トイレ・フロア・浴室等に手すりを配備しています。また、フロア・居室・トイレ・キッチン・洗面所・浴室等の段差は解消しています。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10・23	家族会での内容や話し合った事は記録に残しているが、ご家族が来訪時の要望ややりとりについて記録に残していない。	ご家族来訪時にやりとりした内容記録に残し、それをもとに個別支援に活かしていく。	ご家族来訪時のやりとり、要望をノートに記入し、記録を残し、家族や利用者の変化等に配慮し、個別支援に活かしていく。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。